

Fluff Test 記録補助

回収数・条件・生活観察 / 公式原票や標準化された日本版ではありません

氏名・ID：_____ 日時：_____ 評価者：_____

01 実施条件

病巣側：右・左・その他（ ） 使用手：右・左 C側：右・左 I側：右・左

姿勢・支持／衣服・標的の仕様／感覚・運動・痛み／理解・疲労／手順の変更

02 回収数を記録する

C＝病巣の反対側、I＝病巣と同じ側。数字は取り除いた個数を記入。
原法は遮眼して装着・探索。使用するI側上肢には標的を置きません。

部位	C：回収／配置	I：回収／配置
上肢	____／6	配置なし
体幹	____／3	____／3
下肢	____／6	____／6
合計	C＝____／15	I＝____／9

終了：本人の終了判断・全回収・中断（理由： ）

03 採点方式と結果

原法：Cが12個以下で基準に該当。13個回収は該当しない。

改訂法： $D = 100 \times C / 15 - 100 \times I / 9$ （パーセントポイント）

方式：原法・改訂法 C回収率：_____ % I回収率：_____ % D：_____

著者Table 2との照合結果：_____ 実施条件による解釈上の留保：

04 探索の事実と、次の生活観察

探索しなかった部位／触れたが取れなかった部位／停止・反復／更衣などの確認点

Fluff Test 記録補助

計算・判定の確認 / 以下の数値例は説明用の架空例です

01 回収率の差を読む

Dが負：C側の回収率が低い。Dが正：I側の回収率が低い。
Cが13個以上かつIが8個以上なら、著者の正常範囲です。それ以外は原著Table 2で偏りと全体の低下を区別します。

C/I	D（小数第1位）	読み方
9/9	-40.0	C側の回収率が低い
9/6	-6.7	NSU：偏りが小さい低成績
15/6	+33.3	I側の回収率が低い
13/9	-13.3	著者の正常範囲

02 境界と実施困難を取り違えない

- ・ 原法の13/15を、丸めた86.7%との比較で陽性にしない。
- ・ 改訂表は小数第1位表示。未丸めのDに「>13.3」を直接適用せず、正常範囲を先に確認し、境界例は著者Table 2で照合する。
- ・ NSUは正常ではない。左右差の乏しい低成績の記述であり、特定の原因の診断や、あらゆる身体無視の否定を意味しない。
- ・ 中断・未完了は理由を記録する。通常終了の0点として扱わない。
- ・ 誘導、声かけ、素材変更などは記録。支援後の回収数を初回へ加えない。

03 参照資料

原法：Cocchini G, et al. Neuropsychol Rehabil. 2001;11:17-31.
doi:10.1080/09602010042000132
改訂：Cocchini G, Beschin N. Neuropsychol Rehabil. 2022;32:69-83.
PubMed：32723030 / 著者公開稿：配置図・Table 2
国内解説：太田久晶．神経心理学．2025;41:80-87.
doi:10.20584/neuropsychology.17248

本紙は独自の記録補助です。原著の配置図・全採点表を複製したのではなく、開発者・原著者の監修や承認を意味しません。実施時は原資料を確認し、感覚・運動の評価、他の無視検査、生活観察と合わせて解釈してください。